



ロータリー:
変化をもたらす

会報

頑張れ!多摩!



2018. 05. 16 第1271回例会 No. 28-35 2018. 05. 23発行

◎司会 SAA・親睦委員 足立潤三郎

◎点鐘 会長 田崎 博実

現在、弁護士会で、事業者向けに弁護士を派遣する企画を試行しています。そのチラシ発送を日野法人会に依頼するなどしています。僕がロータリーに入ってよかったと思うのは、このロータリーの人脈を足掛かりにして、更に別の団体とつながって、こうして弁護士会の活動に生かすことが出来るという事でしょうか。ロータリーでの飲み食いは、一見、生産性がない娯楽のように見えますけれども、これをする事によって会員の人脈が広がり、それぞれの会員が行っているプロボノ活動に生かすことが出来るのです。こういうのが、ロータリーの魅力なのかなと思っています。

◎ロータリーソング「それでこそロータリー」
ソングリーダー 菊池 敏

◎お客様紹介 会長 田崎 博実
卓話講師 多摩市防災安全課長 城所 学様

◎会務報告・幹事報告 会長 田崎 博実
5月9日に理事会を行いました。①花見例会につき決算を承認しました。②ラオス小児病院支援につき、296,881円の支出を承認しました。活動報告書につき、提出が未了の委員会がありますので、早めの対応をお願いします。

◎幹事報告 会長 田崎 博実
(配布) インターアクト年次大会の案内 卓話資料
(回覧) ハイライトよねやま 218号
5/30の座禅夜例会・釣り同好会の出欠表にまだの方はご記入をお願いします。
青少年交換派遣生だった細谷愛菜さんより結婚報告が届きました。
(他クラブ例会変更)事務局へお問い合わせください。

◎次年度会務報告 次年度会長 三田みよ子
昨日、PETS 補講を受けまして、無事終了証を頂戴いたしました。大変素晴らしい補講で、きっと立派な会長になれると信じております。

本日は、被選理事会、クラブ運営会議を開催します。活動報告書の提出ありがとうございました。菊池会員と内容確認させて頂きました。本日各委員会の報告を拝見させていただきます。早めの活動で行っておりますが、よりよい運営の為に協力お願い致します。

【 委員会報告 】

◎出席報告 出席奨励委員会 入沢 修自

会員総数	29名
出席義務免除者	7名
出席者数 出席義務者	11名
出席免除者	5名
計	16名

出席率 16/27 = 59.26%

◎ニコニコBOX SAA・親睦委員会 伊澤ケイ子

田崎 博実 本日は二刀流で頑張ります(幹事がお休みなので)。

萩生田政由 多摩市防災安全課 課長城所 学様 西野泰生様 本日の卓話宜しくお願い致します。

足立潤三郎 城所課長ようこそ 卓話宜しく申し上げます。

菊池 敏 多摩市防災安全課課長 城所学様 卓話楽しみです。

三田みよ子 お客様ようこそ、皆さんお久しぶりです。夜 クラブ運営会議宜しく申し上げます。

入沢 修自 お客様ありがとうございます。

大松 誠二 多摩市の地震対策の充実を期待しています。

村上 久 お客様ようこそ。

伊澤ケイ子 お客様ようこそ。

本日の合計¥11,000 (累計¥867,201)

◎卓話者紹介

プログラム委員長 萩生田政由

多摩市防災課長の城所様です。多摩市では、10地区あるまちづくり委員会の他、地域の自治会、管理組合へお出かけになって、精力的に卓話を展開されています。

◎卓話

「多摩市における首都直下地震対策の現状」

多摩市防災課長 城所 学様

多摩市役所 総務部防災安全課長の城所と申します。



本来は現場の西野と2名で出席予定でしたが、市役所内で設備のトラブルのため、私一人でまいりました。という事で、かなり緊張しております。どうぞよろしくお願い致します。

発表内容としては、①想定される災害②多摩市の被害想定と熊本地震③多摩市の取組④今後の取組の方向性の順に進めさせていただきます。

① 想定される災害について、多摩市は、災害として地震以外にも水害でも問題を抱えております。例えばH28年8月22日の台風9号により大栗川が氾濫の危機にあったのが、最近の事例でございます。他、多摩市は坂も多く存在します。今後はハザードマップに坂についても色分けされる予定があり、土砂災害のハザードマップについても注意が必要となるが、今回は首都直下地震に焦点を当てます。

首都直下地震は何処で起きるのか？という点について、日本は4つの大陸プレートに囲まれています。このプレート同士のぶつかる地点のどこでも起こる可能性があると考え、日本海側を除いて日本のどの地域でも起こる可能性があり、30年間で70%の割合で起こるといわれています。首都直下地震は多摩の直下でも起こる可能性もあるという事。その場合、多摩市には震度6強の地震が来る可能性があります。

首都直下といっても、多摩市に大きな被害をもたらす地震として2種類の地震が想定されています。一つが東京湾北部地震、もう一つが多摩直下地震。多摩市としては、多摩直下の方がより被害想定が大きいと予想されています。

多摩エリアの中でも、北多摩地区がより大きな被害が予想されています。

② 多摩直下地震が起きた場合、多摩市内はほぼ全域に渡り、震度6強の揺れが起こるだろうと想定されています。被害想定として、死者は50人程度、負傷者は1300人、建物全壊900棟、建物全焼400棟、避難者3万3千人、帰宅困難者4000人弱程度です。他の講演会でも市民の皆さんにお伝えしているのは、是非この中に入らないよう備えて頂きたいということ。死亡原因の割合は、阪神大震災では8割強が倒壊による圧死、熊本地震でも家屋の倒壊が8割を占めています。この数字から、建物を丈夫にする事が震災対策として有効と思われます。多摩市での被害想定としては、

建物全壊の棟数分布によると、多摩市中心部が多いように見受けられます。熊本地震の時の倒壊データを検証すると、木造では昭和56以前の建物に被害が多く、新耐震基準（平成12年基準改正）前後で差があります。また鉄筋は比較的強いと言われていますが、ピロティ構造は脆弱です。耐震化が進んでいると被害は少ないことが分かります。

さらに、倒壊よりも甚大な被害を及ぼすのが火災です。多摩市でも全域で火災が発生する被害想定となっています。地震が起きて火災を起こさない事が大切です。

ライフラインについて、ガスは止まりますので、煮炊きが出来なくなります。また上下水道の3割は止まる可能性があります。必要に応じて備えが必要です。多摩市は、災害時は専用の組織体制となり、自衛隊などにご協力頂きながら、対応致します。

③ 多摩市の取組について、市内の33か所の小中学校が避難所指定となっています。近くの小中学校への非難をお願いします。帰宅困難者用にも一時避難所を設けており、こちらは住民が利用する事は出来ないのので、しっかりと確認して下さい。緊急救護所については、4か所に医療を集約して、こちらでトリアージを行う事になります。クリニックの先生方へも4か所に集約頂く事になるので、基本的にはクリニックではなく、医療救護所へ来て下さい。備蓄については、避難者に対して、食料は2日分、水は1日分用意しています。「地区防災倉庫（避難所に設置、必要最低限の物）」に備蓄されていますが、足りない場合には市内5か所の防災倉庫、更にはその他より搬送可能。飲料水については、2種類、配水所と井戸水となっています。まずは配水所から給水、足りない場合には井戸水を使用。自宅や事業所に近い給水所を確認して下さい。飲料水は基本、取りに来て頂きます。スタンドパイプなども各避難所に配置しており、消火栓から飲料水を給水できる仕組みを作っています。

④ 今後の取組の方向性について、阪神淡路大震災時に助けられた割合は公助が1.7%、それ以外は全て「自助・共助」だったという事。若い世代や子供達をどう取り込んでいくかという所が課題。多摩市に希薄と言われているコミュニティの形成・BCP・実践的訓練などに力を入れていく必要性を感じていること。公助だけでなく、皆さんのような民間の方々のお力を借りながら震災対策を行っていかうというのが大きな柱となっています。以上で終了致します。

◎お礼と閉会点鐘

会長 田崎 博実

本日は貴重なお話をどうもありがとうございました。統計では、地震における死亡原因の1位は倒壊の巻き添えとの事。これは、地震発生直後に発生するケースが多いのではないのでしょうか。地震が起きて被害は様々だと思いますが、生きてさえいれば何とかかなります。大地震が発生したらとにかく生き残りましょう。

(今週の担当 田村 豊)